

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		中学1年 平成29年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」														
			目 標	①グローバル人材の育成を進めていく、基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行っていく。													
				②生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。													
				③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。													
			達成方法	①わかばを活用し、学習のスケジュール管理ができるように指導していく。ガイダンスや授業を通して学習法について積極的にアドバイスを行う。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行い、学力の定着化を進めていく。													
				②授業内でタブレットを積極的に活用し、思考・意見発表の機会を積極的に設定する。学習アプリを活用や、放課後に一斉に自習する時間を設定し、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。													
		③進路実現のために主軸となる英語の習得の目標となる英検4級の全員の取得を目標とし、漢検・数検にも積極的に取り組みさせる。															
		項目2	②「生きる力育成に向けて」														
			目 標	①「日常の五心」を実践させ、基本的な生活習慣の基礎をしっかりと身につけさせる													
				②社会人に必要な生活の基本的となる「7つのルール」を徹底的に取り組み、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。													
				③ 道徳やピアサポートを通して、豊かな心を養っていく。													
			達成方法	①挨拶・時間厳守・整理整頓の基本的習慣の指導していく。													
②ガイダンスや集会でメモを取ることを身体化させ「聞く」姿勢を身につけ、振り返りを行うことで意識づけをし、実践に繋げていく。																	
③カリキュラムに積極的に参加させ、繰り返しや振り返りをさせていくことで、豊かな心を養うよう努める。																	
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
	目 標	①学校評価を実施することにより、改善・改革と教育活動の向上を図っていく。															
		②開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。															
方 達 成	①授業参観を学期ごとに実施し、教育活動の視覚化を進めていき、保護者からの意見を検討していく。																
	②定期的な学校だより・学級通信・学年通信・進路部通信・生徒部通信等を通して、積極的に活動報告や情報公開をすすめていく。																
		項目1	項目2	項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
	部署コード/平均	3.4	3.1	3.7	3.1	3.2	2.8										
	1	3	4	4	3	4	4										
	2	4	3	4	3	4	2										
	3	4	2	4	3	4	2										
	4	4	3	4	3	3	3										
	5	1	3	1	2	1	2										
	6	4	4	4	4	3	3										
	7	4	3	4	3	3	2										
	8	4	3	4	3	3	2										
	9	2	4	4	4	3	4										
	10	3	2	3	2	3	2										
	11	4	3	4	3	3	3										
	12	4	3	4	4	4	4										
<p>&lt;取組状況・次年度への課題など&gt;            学年間の意識として、各項目は全て重要であると共通意識を持って取り組んでいる。環境整備と質向上にむけての取り組みは弱いという結果になった。            ①学力向上に向けて            朝の妻中タイムの5分、帰りのSHR前の15分を自学自習として取り組ませた。また、わかば、定期考査の計画表や考査の振り返りシートなど、各自で管理していくよう取り組みをさせているが、どちらもまだ学年全体として徹底できていない。来年度も実施し、しっかり集中し計画的に取り組むよう指導していきたい。            ②生きる力育成に向けて            ルールには、理由があり決められていること、それを理解し守る意識を持ちように指導してきた。各行事では、協同する力を養うように導き、各クラス熱心に取り組ませることができた。            ③学校教育環境整備と質向上に向けて            各通信を定期的に発行しているが、manabaを活用して発信することが取り組めなかった。</p>																	

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		中学2年 平成29年度重点目標																		
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	項目1	①「学力向上に向けて」																		
		目標	①グローバル社会での問題解決に必要な「自ら学ぶ姿勢」を育成するため、学力の更なる向上、学習意欲の喚起を進めていく。 ②自分の意見を表現できる環境の構築のため、ICTを活用した指導を構築する。 ③実践的英語力を育成するために、英語4技能の土台構築に引き続き取り組み、その上で全生徒の各種検定への合格およびスコアアップを目指す。																	
		達成方法	①昨年度から実施しているわかばの活用を更に発展させ、自ら学習を管理するように指導していく。「授業の受け方・メモの取り方」が身体化できるような授業・ガイダンスの工夫を行う。また、小テストや補習体制を昨年に引き続き設定するとともに、中位層以上に向けた「学習する意味」を考えさせるような講習を設定していく。 ②昨年度より実施してきたタブレットを活用した授業展開に関して検証を行い、アクティブラーニング教育への活用、プレゼンテーションへの活用の機会を積極的に用意する。そのことで自分の意見を表現するトレーニングを行う。 ③昨年度に引き続き、進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。目標として全員実用英語技能検定3級合格を目指すとともに、既に到達している生徒に対しては更なるスコアアップの意欲付けを行っていく。																	
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																		
		目標	①「7つのルール」の徹底に継続して取り組むことで、社会人として生活するための土台を構築する。 ②道徳や特別活動の時間、学校行事などを通して、目標設定と振り返りの大切さを学び、最後までやり通す力を身につけるよう指導する。 ③自らが学ぶ環境をよりよいものにするために、「あいさつ」「遅刻防止」「校内美化」を徹底することを実感させる。																	
		達成方法	①昨年度に引き続き「7つのルール」を土台とした生徒指導を行い、まずは学校の中で模範となれるような振る舞いができ、それにより自己肯定感が増すように指導していく。そのような指導を通して、生徒が社会でも十分通用するマナーを身につけることを目指す。 ②環境学習旅行、体育祭、文化祭、合唱コンクールに対して徹底的に取り組むことにより、問題解決において最後までやり通すことの大切さを実感できるように指導していく。その中での人間関係の問題について解決する力や行事におけるアイデアを出す力を、道徳やピアサポートを通して指導していく。 ③これら3つの点に関して「言われたからやる」「ルールだからやる」という意識から脱却し、周囲の環境を自ら良くしていくことが自分のためにもなるという点を理解できるよう指導していく。																	
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
		目標	①「開かれた学校」を目指すための情報発信を継続して行う。 ②保護者会や面談での意見や学校評価アンケートの内容を吟味し、教育活動の質向上に必要なものを検討していく。																	
		達成方法	①昨年度と同様に学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して積極的に情報発信を行っていく。今年度はanabaの活用についても検討していく。 ②それぞれの問題に対し、保護者から多様な意見があることをオープンにする。そのことでどの意見が環境向上のために重要かを検討し、学年方針を工夫していく。																	
		項目1	項目2	項目3																
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度													
	部署コード/平均	3.7	3.3	3.9	3.1	3.5	3.2													
	1	4	3	4	3	4	2													
	2	1	3	4	3	1	3													
	3	4	3	4	3	3	4													
	4	3	3	4	4	3	4													
	5	4	3	4	2	4	3													
	6	4	4	4	3	4	3													
	7	4	4	4	4	4	4													
	8	4	3	3	3	4	3													
	9	4	3	4	3	3	4													
	10	4	4	4	4	3	3													
	11	4	3	4	2	4	2													
	12	4	3	4	3	4	3													
	13	4	4	4	3	4	3													
〈取組状況・次年度への課題など〉																				
①学力向上に向けて… 自ら学ぶ姿勢の育成のため、授業やガイダンスにおけるメモの取り方を始め、学習プランの立て方に関して指導を行った。長期休業中の課題などに関しても整理を行い、生徒の到達度に合わせた課題を出すよう努めた。MMTなどを活用した成績下位者の補充とともに、朝講習の形で成績中位層以上に向けた課外授業を行った。その点で模試の成績も安定している。また、英語4技能の対策として、妻中タイムの英語特化および、英検対策・受験の奨励を行った。その結果として、目標である全員3級取得に関しては高い割合で到達することができた。次年度に向けては、高校内容に入っていくことを意識させ、学習方法や指導法についても一歩進んだ形を取っていききたい。																				
②生きる力育成に向けて… 基本的な生活習慣に対する指導とともに、行事に重点を置き、各種行事におけるクラスの取り組みに関し力を入れていくようにサポートしていった。合唱コンクールなどでは昨年度よりもよりよい演奏を完成させることができた。また、生徒指導においては「なぜそのルールがあるのか」を丁寧に説明することに重点を置いた。次年度もそのスタンスを継続していききたい。																				
③学校教育環境整備と質向上に向けて… 各種通信については定期的に発行して保護者に情報を伝えていった。また、保護者会や面談などで出た意見に関しても学年で共有し、可能な部分からフィードバックを行った。年度末に出る保護者アンケートの結果をもとに、次年度に向けて調整をしていきたい。																				

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		中学3年 平成29年度重点目標																			
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																		
			目標	将来の進路や目標を具体的にしっかりとイメージすることによって、学習意欲の向上を図る。																	
				グローバル社会で活躍するために、語学力・問題解決力・プレゼン能力を育成する。																	
				ICTを活用することで、自ら学び取る環境をつくり、高校の範囲まで学習する意欲を持たせる。																	
			達成方法	進路ガイダンス、職場体験などを通して、自分の将来について考える機会を設ける。また、その実現にはどのような目標が必要なのか意識づけをし、学習意欲を向上させる。																	
				英語検定準2級取得を目標に語学力向上と、平和学習やフロンティア活動に関する学びを通して、よりよい発表を考えられる力・説得力のある発表ができる力を身につける。																	
		普段の授業に加え、ICT教材などを用いた学習を積極的に行うことで、高校の範囲の学習にも無理なく進むことができるようにする。																			
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																		
			目標	「7つのルール」・「日常の五心」の実践を図る。																	
				自分の行動をみつめ、他者への配慮が出来、共に向上することができる。																	
				学校行事に積極的に参加し、最後まであきらめずに取り組む。																	
			達成方法	社会生活で欠かせない「挨拶」「規範」など「7つのルール」「日常の五心」を日々のホームルームで朗読し、社会での自分の存在意義を確認する。																	
社会の時間と自分の時間を意識することで、遅刻をなくし、下級生の範となる行動ができるようにする。																					
普段の学校生活やクラブ活動、行事などを通して、最後まであきらめずに努力し、達成感を得ることで、自己肯定感を高める。																					
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																				
	目標	開かれた学校を目指し、保護者との相互連携を図る。																			
	方達成	manabaを昨年以上に活用し、学年通信、進路通信、保護者会などを通して保護者への情報発信、相互理解を深める。 面談や学校評価アンケートから、色々な意見交換をして学校生活の向上を図る。																			
		項目1		項目2		項目3															
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度														
	部署コード/平均	3.9	2.9	3.5	2.8	3.3	2.5														
	1	4	3	3	3	3	3														
	2	4	3	3	2	2	2														
	3	4	3	4	3	4	3														
	4	4	3	4	3	3	2														
	5	4	3	4	3	4	2														
	6	4	3	3	3	3	3														
	7	4	3	4	3	4	3														
	8	4	2	4	2	4	3														
	9	3	3	3	3	3	2														
	10	4	3	3	3	3	2														
	11																				
<p>①学力向上にむけて…          中学3年として、学力向上への重要性は共通意識を持ち、指導に当たることができた。          進路ガイダンスでの大学受験時の幅広い進路対策が必要であること、語学力の重要性を説き、意識づけることはできた。          まだ集中力のきっかけが持てないままの生徒がいることが今後の課題である。</p> <p>②生きる力育成について…          日頃の挨拶や各種行事などで積極的な行動ができる生徒が増えている一方、遅刻など時間管理を身に付けることが難しい生徒の指導が課題となった。</p> <p>③学校教育環境整備と質向上に向けて…          学年としてはmanabaなどのツールを使った連絡を増やし、家庭への情報伝達の機会をふやすことができた。保護者会や面談などで出た意見に関しては学年で共有した。全クラスの学級通信がタブレット配信とまではいかなかったため、今後の課題としての自己評価となった。</p>																					

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校1年 平成29年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																
			目標	高1では基礎力の徹底(不得意科目の克服)を最優先に取り組む。 ※発展・応用力養成は講習等で対応する。															
				進路学習を通じ、より早い進路意識を持つ。															
			達成方法	教員は授業力の向上に取り組む、生徒にはメモ技術育成、復習を徹底させる。															
		MMTを有効に活用する。																	
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																
			目標	「自ら考えて行動する」ことを意識する。															
				遅刻をしない、挨拶をする、締め切りを守る。															
			達成方法	「ダイバーシティ」の視点を持つ。															
		グローバルイシューについての意識を高め、問題解決能力を育成する。																	
		項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
			目標	タブレット、スタディサプリを活用する仕組みを整える。保護者と学校が情報を共有し、連携をより深める。															
達成方法	学年活動や進路指導をはじめとする学校活動に関する保護者の理解と協力をいただけるように情報を提供する。																		
		項目1	項目2	項目3															
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
	部署コード/平均	3.9	3.2	3.7	3.3	3.4	3.1												
	1	4	3	4	3	3	2												
	2	4	3	4	4	4	3												
	3	4	4	4	4	2	3												
	4	4	3	4	4	3	3												
	5	4	3	4	3	4	3												
	6	4	3	4	3	4	4												
	7	4	3	3	3	3	3												
	8	4	4	3	3	4	4												
	9	4	3	4	3	4	3												
	10	3	3	3	3	3	3												
<p>表のように各項目とも概ね重要であると共通認識のもと取り組むことができた。よく取り組めたものもあったが、課題も残った。達成方法を工夫し、継続して取り組みたい。</p> <p>①「学力向上について」 基礎力の徹底を最優先に取り組んだが、英語については学年の約10%の生徒がクリアしておきたいレベルに達していない。この改善を優先課題とし、MMTや放課後の15分学習を有効に使い、英語の読解力育成を優先的にして課題に取り組む。進路学習については外部講師を積極的に招き、「社会が求めているもの」「社会と勉強のつながり」の見地から進路ガイダンスを実施した。スタディサプリの活用を積極的に行ったが、適切な時に適切な量を課題として出す工夫が必要だとわかった。効果が出せるかどうかの鍵であるので、引き続き活用方法を探っていく。</p> <p>②「生きる力育成に向けて」 ②に関しては「自ら考えて行動する」「ダイバーシティの視点」「問題解決能力」については、校外学習などさまざまな場面において、きまりごとを細かく決めなかったり、あえて説明を減らしたり、「この場合はこうする」という指示をあえて出さなかった。それで大きな問題はなかったため継続したい。</p> <p>③「学校教育環境整備と質向上に向けて」 タブレットの授業使用状況について、科目によって差がある現状である。保護者との情報共有については、manabaの活用、HotConPassメールを利用して補習の情報、模試の返却情報、重要な配布物の連絡をするようにした。ロイロノート、manaba、といったソフトは学校tablet端末を使用しなくても利用できるものであるため、普段のtablet使用には直接つながっていない。スタディサプリの活用は引き続き課題としたい。</p>																			

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

		高校2年 平成29年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																
			目標	コアクラスからでもGMARCHに合格できる学力を養う。															
				コアクラス: 高校2年時のGMARCH合格者センター試験平均点(校内)を上回る。															
				アドクラス: 高校2年時の早慶上理合格者センター試験平均点(校内)を上回る。															
				GLCクラス: TOEFLiBTスコア75( $\alpha$ )、57( $\beta$ )を目指す															
			達成方法	学年小テスト(英・数・国)の実施: 毎週実施															
		Ichi-go programの実施: 月・火・木・金曜日(15:15～15:30)に模試対策をおこなう																	
		放課後延長自学自習の実施																	
		進路カルテの活用 日々の授業を大切に																	
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																
			目標	7つのルール of 徹底より、他者を思いやる心を育成し、「人のために生きる」価値と喜びを感じられるようになる。															
				クラス種別を問わず、英語力、プレゼンテーション能力を向上する。															
「与えられる人」から「自ら考えて行動する人」になる。																			
達成方法	委員会活動や係活動にやりがいを持たせる。																		
	マナー、モラルを重視し、中学時と同様に指導する。マナーやモラルは、人の生き方・生き様に直結してくることをLHR等で理解させる。																		
	授業内で発表の機会を計画的に設ける。 今、何をすべきなのかを常に考えさせる機会をもつ。 学びのサプリの中でも高2から導入でき、かつ、効果的な方法を取り入れる。具体的には「聞く力」の育成と徹底。																		
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目標	タブレットを有効活用し、多様な教育方法を提供する。																	
	方達成	manaba、ロイロノートを授業以外にも有効活用し、稼働率を高める。 スタディサプリを有効活用する。																	
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
	部署コード/平均	3.9	2.8	3.8	3.0	3.4	3.1												
	1	3	3	3	2	3	2												
	2	4	2	4	2	4	3												
	3	4	3	4	3	3	3												
	4	4	3	4	3	4	3												
	5	4	3	4	4	3	4												
	6	4	3	3	3	4	4												
	7	4	2	3	3	3	3												
	8	4	4	4	3	4	4												
	9	4	2	4	3	4	3												
	10	4	4	4	4	4	4												
	11	4	3	4	3	3	3												
	12	4	2	4	3	2	1												
<p>〈取組状況・次年度への課題など〉</p> <p>①学力向上に向けて: コアクラスの合格目標をGMARCHに設定し、授業計画をおこなったが、大きく届かなかった。コアクラスの目標設定を修正する必要があるが、指導計画の見直しも含めて進めていきたい。アドバンスクラスについては一定の数値を保っており、上位層、下位層への対応の選別が必要であるが、引き続き下位層についても一定レベルまで引き上げられるよう指導していきたい。</p> <p>②生きる力育成に向けて: マナー、モラル指導を通じ、高2になってこれまでより落ち着きが出てきたように感じられる。プレゼンテーション能力の育成に関しては「総合」の授業や各教科の授業内でおこなっているが、まだ「与えられる」ものへの対応にかたよっており、自ら考えて自発的に学びを進めていく段階までには至っていない。個々人に「気づき」の瞬間を与えるような題材、授業構成が必要であるが、受験間近の状態を考えると来年度はまず結果重視の受験指導が必要と考える。</p> <p>③学校教育環境整備と質向上に向けて manabaでの学年通信、その他配布プリントの配信をおこない、使用頻度は非常に高かった。保護者会でも使用法について説明をおこなったが、保護者への周知が繰り返し必要だと感じた。ロイロノートの使用頻度も比較的高いが、使用方法については限られているため、ロイロノートを使った授業の可能性を広げていきたい。スタディサプリはおもに復習用に使用し、活用方法については昨年同様、生徒主体でおこなった。</p>																			

平成29年度 学校経営計画 各部署重点目標と達成方法

高校3年 平成29年度重点目標																			
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない  達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目 標	生徒一人一人の偏差値を+5上げることを目標とする。																
			生徒一人一人が希望する大学に合格できるように、希望大学別ガイダンスと講習を充実させる。																
			生徒自らが積極的に学習に取り組めるような環境を整備する。																
		達 成 方 法	・模試分析結果を学年で共有し、生徒個々の弱点を把握し、次の模試に備えさせる。																
			・集中して学習する習慣を確立させるための自学自習環境を提供する。																
			・「進路カルテ」を作成し、各個人が模試ごとに目標を設定し、目標達成のための具体的計画を考えさせる。																
			・勉強合宿や大学職員による大学別ガイダンス・大学ツアーなどを実施し、受験意識を高めるようにする。																
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																
			目 標	メリハリのある生活習慣を確立(自己管理能力を育成)させる。															
				集団における自己責任能力の育成を目指す。															
				グローバル化を想定した将来設計像の構築を促す。															
達 成 方 法	・「常に前向きな思考を持つこと」が、1年後の進路決定や日常生活にプラスの影響を与え、「悲観的な発言をすること」はマイナスの影響を与えることを再度理解させる。																		
	・学年全体で学力が向上するための方法を、場面ごとに具体的に生徒に示す。																		
	・受験に対するメンタル的影響について、面接やガイダンスを通して個々の生徒に対応していく。																		
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目 標		・保護者対象のガイダンスの充実をはかる。																
			・学年の活動や進路指導に関する保護者の理解と協力をいただけるように情報を提供していく。																
	達 成 方 法		・保護者ガイダンスを通して、本校の進路指導方針、及び現在の大学入試のあり方について具体的に提示する。																
			・進路通信や学年通信を通して、大学入試の変更点などの情報をいち早く保護者・生徒・教員で共有できるように心がける。																
		・2年間行ってきた、時間管理の重要性などについての取り組みを、今年度も継続する。																	
			項目1		項目2		項目3												
			重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度											
		部署コード/平均	3.9	3.2	3.8	3.2	3.6	3.1											
		1	4	3	4	3	4	3											
		2	4	3	4	3	4	3											
		3	4	3	4	3	4	3											
	4	4	4	4	3	3	3												
	5	4	3	3	3	3	3												
	6	3	3	3	3	3	3												
	7	4	3	4	3	4	3												
	8	4	4	4	4	4	4												
	9	4	3	4	4	3	4												
	10	4	3	4	3	4	2												
<取組状況・次年度への課題など> 今年度実施を計画した勉強合宿・35大学を集めての入試問題ガイダンス・大学ツアーなどはすべて実行した。生徒の受験に対するモチベーションを高めるための計画であった。実施に際してはガイダンスを行い、目的を明確にしたつもりであったが、現実には目的意識の高い生徒とただ参加しただけにとどまった生徒がいたと思われる。生徒全員に企画の意図が伝わりきれなかったことが残念に思える。今後、伝え方と問題意識の確認を行うように工夫する必要があることを改めて実感した。																			